

特集

島井咲緒里の世界……③～⑤

市政の動き「平成8年度施政方針」

市総合計画 ほか ⑤～⑨

優3ゆめ1ニュース ほか ⑩⑪

なんこく再発見 ⑬⑭

みんなの広場 ⑭

同和教育シリーズ ⑮

カメラリポート ⑯⑰

お知らせ ⑱⑲

こんにちは赤ちゃん 短歌 俳句 川柳など ㉔

カレンダー

別紙

島井咲緒里の世界

県初の女流プロ棋士誕生!



将棋界、

羽生善治の活躍

今年二月、谷川浩司との「王将戦」に勝ち、七冠を達成した羽生善治。史上最強といわれる羽生は、新人類天才棋士と騒がれて十年あまり、ついにそのすべてのタイトルを手中にしました。羽生は平成元年十二月、十九歳で竜王位を手にしてから五年足らずのうちに「名人」

「王将」「竜王」「王位」「棋聖」「棋王」「王座」の全タイトルを制覇。物事を創造する右脳の働きがとくに強いとされ、長い手を直感で見つける能力、危機に陥ったときとつさに回響する本能に優れていると、同じプロ棋士からもその能力の高さを絶賛されています。ちなみに九十

三年からは、三年連続で一位の棋士。二十七回戦つて負けたのは三回だけ、勝率は八割八分。

これまでも、千田幸三、大山康晴、中原誠、米長邦雄など偉大な棋士がいますが、羽生の活躍で一躍クローズアップされるようになった将棋の世界。

ましかとWatching



目標達成を願って頑張ってもらおう

6.5mのこの看板、昨年の秋の交通安全運動のとき、安全協会南国支部の企画で南国署前に作られたもの。

支部長の溝淵勇さんがモデルで「ホント、よーにいちゅう」と評判はなかなか良い。

南国署管内での運転手のシートベルト着用率は85～90%。同支部によると100%になるまでもう一踏ん張り頑張ってもらいたいこと、場所があれば、更にもう一つ市内のどこかに立てたいと意気込んでいます。

春の交通安全週間はもうすぐ……。

勝って喜ぶ者、負けて涙を流す者。明と暗がはっきりと分かれる勝負の世界。勝負師たちは、負けて悔し涙を流さぬよう、常に厳しい修練でその技を磨いています。そんな厳しい勝負の世界、将棋界に、わずか十五歳の、南国市在住の島井咲緒里さんが飛び込もうとしています。

高知県初の女流棋士デビューする

その将棋の世界に、高知県初の女流棋士として、島井咲緒里さん(正石山、土佐中三年生)が四月にデビュー。

羽生のような、変幻自在の个性的な将棋を目指し「型にはまらない将棋を指したい」と語る島井さんは、日本将棋連盟の女流育成会で、十八勝二敗、勝率九

割とて何無しの成績で優勝し、見事この四月に女流プロ棋士となります。一般に守りの将棋が多いと言われる女流の中で、多少危



